

Security & Safety

安心安全な社会の実現を目指す 防災・防犯セミナーⅡ

平成 21 年 **11/2** 月 **【入場無料】**
14:00～17:00
受付開始 13:30から

メルパルク長野 3F【白鳳の間】
長野市鶴賀高畑 752-8

- ・自然災害に対する防災対策が近年ますます重要となっています。
- ・平成21年8月だけをとっても、日本では震度3以上の地震が25回発生し、その中には、東名高速に大きな被害を与えた震度6の東海・伊豆地方の地震(8月11日)も含まれます。
- ・その一方で、この東海・伊豆地方の地震では日頃の地震対策の効果も見られ、対策の重要性が改めてクローズアップされました。
- ・また、どのような大規模災害が発生しても稼働を続け災害情報を収集するとともに、住民の安否確認を行うネットワークシステムも開発・利用が進んでいます。
- ・本セミナーでは、総務省SCOPEにより研究開発を進めているネットワーク技術についてわかりやすく紹介するとともに、防災・防犯対策として地域でどのような取組が有効であるのかを、専門家と地域の防災・防犯にとり組んでいる自治体、地域の防災・防犯関係団体、企業の皆様との意見交換も交えて明らかにします。

■主催者あいさつ 14:00～14:10

■基調講演 **「女性の視点で考える災害対応」**
14:10～15:10
～いま、自治体に求められることとは～
講師：危機管理アドバイザー 国崎 信江 氏



災害に備えるということの具体的な話と自治体は何をすべきか、最近の東海地方等での地震等具体的な事例を通して自治体が必要すべきことを論じる。

■成果発表 **「高耐障害性アドホックネットワークシステム」**
15:10～15:40
～児童見守り、独居老人見守り、センサーネットワークへの活用～
講師：国立大学法人信州大学 大学院教授：不破 泰 氏



高耐障害性アドホックネットワークを用いた地域の安全安心システムについて、具体的に児童見守りシステムとして塩尻市での展開の状況と、今後の取組として独居老人見守り、センサーネットワークへの活用について論じる。

■パネルディスカッション

15:50～17:00 **「地域における災害への備え」**～自治体の実績と求められること～

司 会：青木敏氏(社団法人テレコムサービス協会 顧問)

パネラー：国崎信江、不破泰氏、鈴木雅人氏(社会福祉法人信濃の星事務局長)、金子春雄氏(塩尻市)

主催：国立大学法人信州大学・信越情報通信懇談会 後援：総務省信越総合通信局

■お問い合わせ：信州大学大学院 工学系研究科 情報工学専攻 不破研究室 (fuwa@cs.shinshu-u.ac.jp) まで

■お申し込み：右記 URL の HP からお申し込みください。 <http://security.cs.shinshu-u.ac.jp/Events/seminar2009/>